



2023年5月10日

各位

会社名 テモナ株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐川 隼人
(コード番号: 3985 東証プライム市場)
問合せ先 取締役兼執行役員 CFO 重井 孝之
(TEL. 03-6635-6452)

業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年11月11日に公表した2023年9月期第2四半期累計期間(2022年10月1日~2023年3月31日)の連結業績予想値と、本日公表の決算短信における実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2023年9月期(2022年10月1日~2023年9月30日)の通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおり併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年9月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値の差異(2022年10月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,254	△148	△146	△155	△14.56
今回発表実績(B)	1,245	△34	△29	△27	△2.57
増減額(B-A)	△8	113	117	127	
増減率(%)	△0.7	—	—	—	
(参考)前年同期実績 (2022年9月期第2四半期)	953	57	49	15	1.43

2. 2023年9月期連結業績予想数値の修正(2022年10月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,643	△150	△147	△164	△15.44
今回修正予想(B)	2,328	△65	△64	△60	△5.68
増減額(B-A)	△315	84	82	103	
増減率(%)	△11.9	—	—	—	
(参考)前期実績 (2022年9月期)	2,253	△195	△194	△175	△16.50

3. 第2四半期（累計）実績値差異の理由及び通期業績予想数値修正の理由

(1) 2023年9月期第2四半期（累計）実績値差異の理由

① 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

期初の業績予想策定時点において、選択と集中による経営の効率化を業績予想に反映しておりましたが、景気の先行きの不透明さが増す状況にあったことなどから、トップダウンによる不採算事業の人材投資の見直しや業務の効率化を早期に実施し、営業利益、経常利益、親会社等に帰属する四半期純利益のいずれも前回発表予想数値を上回りました。

(2) 2023年9月期通期業績予想数値修正の理由

① 売上高

EC支援事業において2023年9月期第2四半期（累計）は、「サブスクストア」や「たまごリポート」のサービス利用アカウント数は減少したものの、カスタマイズ等の受託開発収益や「サブスク@」の販売が好調であったことから、業績予想数値を上回っております。一方で、エンジニアリング事業は、株式会社サクルにおいてシステム開発を請け負うサービスと顧客にソフトウェアエンジニアのスキルを提供するシステムエンジニアリングサービスがありますが、システムエンジニアリングサービスの提供先が減少したことなどにより、2023年9月期第2四半期（累計）の売上高実績は前回発表予想比0.7%減の1,245百万円となりました。

通期業績予想としましては、サービス利用アカウント数の減少からリカーリング収益が期初の業績予想数値より減少するとともに、上述のシステムエンジニアリングサービスの減少から2023年9月期通期業績予想は前回発表予想比11.9%減の2,328百万円となる見込みであります。

② 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

2023年9月期通期業績予想につきましては、引き続き経営の効率化を推進することなどから営業損失△65百万円（当初計画は△150百万円の営業損失）、経常損失△64百万円（当初計画は△147百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失△60百万円（当初計画は△164百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となる見込みであります。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上